

攻め込みきれず

二連敗...

駒澤大学 1-3 早稲田大学

ゴールにあと一步及ばず、
悔しがる小牟田
(撮影：清村亮太)

4月12日 13:50 駒沢オリンピック公園総合運動場

駒大 1 (1-1) 3 早大
(0-2)

得点者 (アシスト)

[駒]05 分中村

[早]15 分山内
[早]53 分堀田
[早]70 分上形

KOMAZAWA

GK①秋山瑠偉(4)
DF⑬大木 暁(4)
DF②嶋谷昇大(3)
DF④平尾優頼(4)
DF⑯柳川剛輝(3)
MF⑩板倉直紀(4)
MF⑤伊藤慎人(4)
MF⑪小牧成亘(4)
MF⑰平野篤志(3)
(67 分⑩キン デセン(2))
FW⑭中村 駿(3)
(76 分⑰吉岡雅和(2))
FW⑨小牟田洋佑(4)

S U B

GK②積田景介(3)
DF③川岸祐輔(4)
MF⑮須貝 暁(3)
MF⑰立石忠之(3)
FW⑫菊池将太(3)

MANAGER
秋田浩一

AOYAMAGAKUIN

GK①松澤香輝(4)
DF②奥山政幸(3)
DF③田中進之助(4)
DF⑳平澤俊輔(2)
DF㉒新井純平(2)
MF⑥近藤洋史(4)
MF⑦近藤貴司(4)
MF⑭堀田 稜(3)
(92 分中山雄希(2))
MF㉑園田慎一郎(4)
FW⑪山内寛史(2)
(83 分小林大地(2))
FW⑮上形洋介(4)

S U B

GK②斎藤康平(2)
DF④金沢拓真(3)
DF⑬西山航平(3)
FW⑰市村一貴(3)

MANAGER
古賀 聡

[シュート]9:6 [GK]16:8 [CK] 7:11 [直接FK]18:17
[間接FK]3:5 [主審] 國古真吾 [観衆]522人

警告(C) / 退場(S)

[駒]39 分伊藤慎人(c) [早]32 分平澤俊輔(c)
[早]87 分近藤洋史(c)
[早]90+2 分園田慎一郎(c)

開幕連敗スタート

開幕戦で関東王者から 6 発を浴び、「差」を見せつけられた駒大は昨季 2 位の早稲田大との一戦に臨んだ。

先に試合の主導権を握ったのは駒大だった。最前線の小牟田にボールを集め、その後方から平野がスペースへ飛び出しチャンスを演出。3 分には平野が持ち前のスピードで相手 DF 陣の網を破り、決定的なクロスをあげる。わずかにゴールには及ばなかったものの、攻勢を強めていく。すると、その直後の 5 分、前線からのプレスがはまり相手のミスを誘う。その一瞬を中村が見逃さず、飛び出してきた GK をかわし、奪ったボールをそのままゴールに流し込む。1-0 とリードし、勢いそのままに追加点を狙う。しかし 15 分、前がかりになったところをカウンター攻撃で簡単に崩され失点、1-1 とされる。その後は互いに激しい攻防が続くも決め手に欠き、スコアは動かめまま後半へ。

後半、最初に好機が訪れたのはまたしても駒大だった。後半 49 分ペナルティエリア付近、ゴールの

正面と絶好の位置で直接 FK を獲得。小牟田が直接狙ったボールはエンジ色の壁を越え、枠を捉えたものの、早稲田の GK のファインセーブにあってしまう。そのまま相手ゴールを割れないでいると 53 分、今度は駒大のミスから失点。逆転を許してしまう。なんとか追いつきたい駒大だったが、70 分にカウンター攻撃から DF のプレスが甘くなったところを狙われ引き離されてしまう。試合はそのまま反撃も及ばず 1-3 で終了。押していた時間が多かっただけに悔しい敗戦となってしまった。

「本当に悔しい。シュート数も僕らの方が上回っていたと思うが、結局は少ない本数を確実に決めてきた早稲田が試合では勝った」と主将の平尾は試合を振り返る。今節またしても感じたチャンスをもに作る決定力の「差」。この違いを無くすことこそ、駒大が 1 部の舞台で勝ち進んでいくために一番必要なことなのかもしれない。

(向江凌理)